



#### <本事業の目的>

理数系人材、理数系大学生の進学者が減少傾向にある。特に、理数系女子が極端に少ないことは喫緊の課題である。このことを解消するため中学生女子に対して理数系（STEN/STEAM）について興味関心が持てるワークショップの開発を大学生と高校生との協働事業として行い、同時にワークショップの指導者として実践をする。

#### <課題を抱える対象者>

中学校女子生徒 小学校女子児童 教員を目指す大学生

#### <活動>

§9月10日 参加大学生ミーティング 趣旨説明等

§10月5日 参加大学生STEM勉強会

§11月5日 大学祭 大学解放事業「宇宙エレベーター」参加

§11月19日 関崎海星館ワークショップ補助参加

§12月9日 公開講座「女性の理系進路選択支援

ものづくり・研究体験 ワークショップ」補助参加

§12月13日 小学校プログラミング講義 グループワーク

§2月5日 由布市立狭間小学校 6年生 ワークショップ

§2月7日 大分県立豊府中学校 女子中学生 ワークショップ



おおいた地域連携プラットフォーム 令和5年度 実践型地域活動事業

## 理系女子のためのワークショップ講習開発プロジェクト

### 本プロジェクトの参加大学生の感想

- ・参加した大学生からはワークショップの内容や構成を考えることはとても楽しかったとの感想が多くみられた
- ・ワークショップを運営し子どもたちとの触れ合いが勉強になった
- ・アイデアを具現化することはなかなか難しかったがやりがいがあった
- ・やりたい事とできる事の選別が必要
- ・金銭面、時間、場所など多くの制約がありそれが今後の課題
- ・来年も同様の取り組みがあればぜひ参加してみたい

### 本プロジェクトでの成果

- ・大学生が独自に考え企画したワークショップを開催することができた。
- ・参加者のほぼ全員がワークショップの内容について興味関心が強くなったとの回答があった。
- ・同様に今後もこのようなワークショップがあれば積極的に参加してみたいとの回答がほとんどであった。